



道新スポーツ旗 第46回全道(U-12) サッカー少年団大会 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう!!

藻南FC 西野第二

LIV. FC A 大谷地

伏古 上江別ジュニア

コンサドーレ札幌A FCバルド豊平

札幌地区代表を目指して124チームが8ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記8チームが全道大会に進出することになりました。全道の場で貴重な経験をしてきてほしいです。

U12のサッカー大会も残すところリーグ戦と会長杯ということになりました。今大会での経験を生かし、目標を持って日々のトレーニングに励んでください。

7月6日(日) SSS G(A)		
SSS A		藻南FC
1	1-2 0-0	2

SSSのキックオフで試合開始。2分最初のチャンスはSSS、CKから7番が押し込み先制する。5分SSSのパス回しから右サイド6番がシュートを打つもゴール左に外れた。7分藻南FCはCKを得るも決めきれず、さらに中盤でボールを奪うもシュートまで持って行けず。その後も中盤でのボールの奪い合いが続く。13分パス回しからシュートを打つもキーパーにキャッチされる。15分藻南FCは9番のシュートで同点に追いつく。17分藻南FCは、CKから直接ゴールを狙うも決めきれず。18分藻南FC

きずな

の8番のロングシュートをSSSのGKが触るがゴールインし、1-2藻南FCリードで前半終了。

後半、SSSは積極的に攻撃するもシュートまで行けず。4分SSSはCKを得るも得点には至らず。5分藻南FCの10番のFKは惜しくもゴール左に外れる。6分藻南FCの9番がシュートを打つもゴールポストにはじかれる。8分藻南FCの8番がドリブルシュートを打つもGKの正面。9分藻南FCのゴールキックをSSSの8番がカットしそのままシュートを打つもGKのナイスセーブに阻まれる。12分藻南FCは、右サイドから10番がFKを蹴るも直接SSSのGKがキャッチ。その後は一進一退が続き、16分SSSの7番が左サイドから仕掛けるも藻南FCのDFに阻まれる。19分藻南FC10番のFKはゴール右へ外れる。SSSも得点を狙うが決まらず試合終了。藻南FCが逆転勝利を収め全道大会への進出を決めた。

7月6日(日) SSS G(B)		
篠路		西野第二
0	0-3 0-2	5

西野第二のキックオフで試合開始。立ち上がりから西野第二が前線からのプレッシャー、相手ボールへの速いアプローチでボールを奪いそこからドリブルでの突破、ワンツープス、サイド攻撃などで相手ゴールに迫り試合の主導権を握る。4分右サイドからのフリーキックを22番がゴール前へ上げ28番がヘディングシュートを決め先制点を奪う。勢いに乗った西野第二は、その後も攻撃の手を緩めず8分相手陣内の深い所で28番がボールを奪いそのままゴール前に持ち込みシュートを決め2点目、13分には24番からのセンタリングに18番が合わせ3点目と試合を優位に進める。一方篠路も何度かカウ

ンターを仕掛けるが、西野第二の速い守備でシュートまで持ち込むことが出来ず、3-0で西野第二のリードで前半終了。

後半に入り前半同様の試合展開の中、西野第二が24分、36分に追加点を奪いほぼ試合を決定づける。篠路も最後まであきらめず9番を中心に攻撃を試みるが西野第二の堅い守備に阻まれ試合終了。西野第二が全道大会の出場を決めた。

7月6日(日) SSS G(A)		
LIV.FC A	ベアフット A	
3	3-0 0-0	0

LIV.FC Aのキックオフで試合開始。両チームとも落ち着いた立ち上がり。3分LIV.FC Aの23番がドリブルで持ち込みシュート、GKの正面に24番が詰めるもナイスセーブ。4分LIV.FC Aの24番のシュートを12番が押し込み先制。5分LIV.FC Aの24番が右サイドから左サイドへの12番へ、シュートするもGKナイスセーブ。徐々にLIV.FC Aペースになる。7分LIV.FC Aの24番が相手ボールを奪い23番へパス、落ち着いてゴールを決め2点目。11分ベアフットAの33番が右サイドからクロスを上げるが3番に合わず、その後は中盤でのボールの奪い合いが続く。15分LIV.FC AのCKは惜しくもゴール前の選手には合わず。16分ベアフットAは、左サイドから駆け上がりゴールを狙うもLIV.FC Aの13番のDFに阻まれる。18分ベアフットAの7番から33番へのワンツーマンも残念ながら合わず。19分ベアフットAのCKを2番が頭で合わせるもバーに弾かれ惜しくもゴールならず。LIV.FC Aは、カウンターから3番がゴール左隅へ決めそのまま3-0LIV.FC Aリードで前半終了。

後半2分、LIV.FC Aの23番がドリブルで仕掛けるもベアフットAのDFに阻まれる。4分LIV.FC Aはまたも23番が右サイドからドリブルで仕掛けてシュートを打つがゴール右に外れる。その後もお互いボールへの寄せが早く、ボールの奪い合いが続く。中10分LIV.FC Aの4番が、ドリブルで抜け出し左サイドからシュートを打つがゴール右へそれる。その後ベアフットAも攻撃を仕掛けるがなかなかゴールを奪うことが出来ずにそのまま試合終了し、LIV.FC

Aが全道出場を決めた。

7月6日(日) SSS G(B)		
大谷地	南月寒	
4	1-0 3-0	0

Dブロックの代表決定戦は大谷地のキックオフで試合開始。開始1分大谷地が最初のチャンスをつかむ。相手陣内深い位置での相手ボールのスローインを11番が速い寄せからボールを奪いそのままドリブルでゴール前に持ち込みシュートを決め先制点を奪う。その後も相手ボールを奪って前線への速いフィードからゴールに迫り11分には中盤からの縦パスに抜け出した11番がGKと1対1になり決定機を迎えたがGKのファインセーブに阻まれ惜しくもゴールならず。南月寒も粘り強い守備で追加点を許さず、攻撃では9番のドリブル突破から何度かチャンスを作り出す、ゴールを奪うことが出来ず1-0大谷地のリードで前半終了。

後半に入り開始早々、大谷地が再び前半同様相手陣内での相手ボールのスローインを奪いすぐさまペナルティエリア中央付近にいた11番がパスを受けワントラップから見事なシュートが決まり2点目を奪う。勢いに乗った大谷地は、立て続けに27分ミドルシュートの跳ね返りを13番が押し込み3点目、29分には、11番がサイドを突破しセンタリングを上げ、ゴール中央で13番が合わせ4点目となる追加点を取り試合を決定づける。南月寒も最後まであきらめずに9番を中心に攻撃を試みるが、大谷地の球際の厳しい守備に阻まれ試合終了。大谷地が全道大会の出場を決めた

7月6日(日) 江別北電G(A)		
中の島	伏古	
1	1-5 0-4	9

Eブロックの代表決定戦は、曇り空ながら風も無く良いコンディションの中、伏古のキックオフで始まった。先手を取ったのは伏古、開始1分フリーキックからゴールを狙うもキーパーがクリア、コーナーキックを13番がヘッドで合わせるがキーパーがキャッチする。中の島が得たフリーキックはゴールラ

インを割る。5分伏古の5番がドリブルで持ち込み中央へパスしシュートするがボールはバーの上を越える。試合開始から伏古が試合の主導権を握り有利に試合を展開する。中の島が懸命に守るが8分にコーナーキックから12番がヘッドで合わせ1点を先取する。さらに9分、12番がパスを受けシュート、キーパーがはじいたボールを押し込み追加点をあげる。13分2番が右からシュート、キーパーがはじいたボールを12番がシュートし3点目を追加する。ここで伏古の12番が早くもハットトリックを達成した。15分には、2番、12番、6番とパスが繋がり6番が決め4点目。中の島も反撃を開始、17分に相手のファールから左からのフリーキックを得た10番のキックがゴールに吸い込まれ1点を返す。19分に伏古のシュートをキーパーのキャッチングミスにより5点目が入り伏古が試合を支配し前半が終了。

後半開始早々、伏古12番がシュートするがキーパーがクリア、コーナーキックから5番がシュートするもディフェンスがクリアする。23分伏古12番が13番にパス、それをドリブルで持ち込み6点目を上げる。さらに25分、12番が左サイドからシュートがネットを揺らし7点目が入る。27分には、6番から11番へのパスを受け11番が得点を狙うがボールはバーの上。中の島の守備の時間が続くが、試合の流れを変えようと選手交代をしていくがその後も伏古の攻撃が続き、30分伏古6番のコーナーキックに10番がヘッドで合わせ8点目、36分には、味方のゴールキックから、2番がドリブルで持ち込み9点目を入れる。終了間際、中の島が右サイドから攻め込みゴールを狙うが伏古の守備に阻まれ試合終了を迎え、代表の座を伏古がつかみ全道出場を決めた。

7月6日(日) 江別北電G(B)		
上江別ジュニア	苗穂	
10	8-0 2-2	2

Fブロックの代表決定戦は上江別対苗穂の対戦となった。上江別キックオフで9番がワンタッチした直後、センターサークル内で13番がシュートを放ち苗穂 GK の頭上を越えてネットを揺らした。さら

に1分には13番が右サイドから上げたクロスを10番がボックス内でボレーを決めて2点目。3分には中央からのパスを7番が右ボックス内で合わせて3点目。5分には左サイド自陣から左 DF の3番がドリブルで相手ゴール前まで持ち込んで4点目を決めた。その後も上江別は全員がドリブルで苗穂を翻弄し、立て続けに追加点を奪い8-0で前半を終わる。

後半は、苗穂が息を吹き返し、開始1分に7番が中央から上げたボールを9番が左サイドでシュートを決める。結局後半は2-2で終わり、上江別が10-2で勝利したが、試合開始後の5分間で勝負は決まってしまった様だ。苗穂もいいチームであったが、それ以上に上江別の個人技の高さが際立った試合であった。全道大会でも上江別の躍進に期待が持てる。

7月6日(日) 北電江別(A)		
コンサドーレ A	アスルクラロ	
3	3-0 0-0	0

Gブロックの決勝は、曇り空、気温24度と試合を行うには絶好のコンディションの中、コンサドーレ A のキックオフで試合開始。立ち上がりは両チームともボールを両サイドにちらしゴール前に合わせる展開で試合が進み、コンサドーレ A が徐々にボールの支配率を上げ始めた11分に均衡が破れた。中央からボールを右サイドに展開しゴール前で折り返しを合わせてコンサドーレ A が先制する。1点を先制されたアスルクラロは12分、右サイドにボールを展開し中央に折り返すもコンサドーレ A の CB が身を挺して防ぎ同点にはさせず、逆に13分コンサドーレ A が右サイドにボールを回し11番がペナルティエリア前からのミドルシュートで追加点を上げる。2点差となりさらにコンサドーレ A が14分カウンターから縦パスを使い相手 DF 間にパス、34番が抜け出し GK の動きをよく見て3点目のゴールをあげる。両サイドにボールを展開しさらに追加点を狙うコンサドーレ A は、アスルクラロの堅い DF 陣に阻まれ前半を終了する。

後半3点を追うアスルクラロはメンバー変更はなし、コンサドーレ A は、43番、41番を交代出場させさらに追加点を狙い後半を開始する。3分、コ

ンサドーレ A は、早めにワンタッチでボールを繋ぎはじめるとアスクラロの DF も落ち着いて対応し追加点を許さずコンサドーレ A の反撃を死守する。7分アスクラロ左サイドから縦にパスを出すもコンサドーレ A の DF が中への折り返しを阻む、10分アスクラロ CK を得るもコンサドーレ A の DF 5番が頭でクリアし得点を阻止する。14分コンサドーレ A はさらに追加点を狙いメンバーを入れ替えサイドにパスを回しゴール前に出すもアスクラロの堅い DF の守りで得点に結びつけることが出来ない。この後両チーム果敢に攻撃するもゴールを割ることが出来ず、試合終了の笛が鳴り、コンサドーレ A が全道大会の切符を手にした。

ーフウェイライン際でインターセプトし、左サイドを突破しシュートを放つが惜しくも左サイドネット。16分、リベルタ豊平 10番が中盤からの縦パスに走り込みシュートを放ちクロスバーに当たりながらも見事にゴールイン。試合を決定づける3点目が入りリベルタ豊平が勝利し全道大会への切符をつかみ取った。

全道大会の結果は、道協会HPをご覧ください。

7月6日(日) 北電江別(B)		
清田南	リベルタ豊平	
0	0-2 0-1	3

Hブロックの代表決定戦は清田南のキックオフで試合開始。開始早々リベルタ豊平の4番が右サイドからドリブルで持ち込み中央に出したボールに10番が駆け込みシュートを放つがGKに阻まれる。その後すぐに、清田南も右CKからこぼれたところを19番が合わせるがゴール右へそれる。10分には清田南のCKのチャンスに19番がヘディングで合わせるが惜しくもゴールポストに当たりチャンスを活かさない。また、リベルタ豊平も右サイドからの攻撃を中心に攻撃を試みるが得点にはならない。両チームともに一進一退の攻防が続く中、16分リベルタ豊平が中盤から出た浮き球に10番が走り込みワンバウンドしたボールをGKを見ながら冷静にループシュートを見事に決め均衡が破れた。さらに、リベルタ豊平は勢いに乗り、20分にも10番が中盤からドリブルで相手DFを崩しGKが前に出てきたところを落ち着いてシュートし左サイドネットを揺らし2-0で前半終了。

後半に入り、清田南の反撃、左CKから12番が相手のマークを振り切り合わせるがゴール横にそれる。その直後4番がミドルシュートするが、クロスバーに阻まれ得点が奪えない。一方リベルタ豊平もカウンター攻撃が目立ち始める。10分、10番がハ